

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月31日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス あるは

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	個別支援ができる訓練室があり、小集団でトレーニングできるスペースも確保しています	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	基準を遵守し日々配置しています。個別療育ができるように1対1のシフトを組んでいます	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	特性のある児童に合わせて、行動しやすいように構造化されています。建物の構造にトイレ、手洗いに段差があるが、手すりを設置したり、移動の際に段差で踏み外しのリスクを考慮して必ず見守りを実施しています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	遊戯室は広い空間とし、運動等の活動を実施しやすくしています。物品の整理整頓を毎日行い、消毒は徹底しています	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	支援等、日々を振り返り職員全員で療育内容や結果を考え話し合いができています	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者に評価表を配布し、意向等の把握を行っています	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	法人本部総合政策業務監査部に提出し、自己評価の改善部分や関西事業本部ホームページにて公開しています	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	第三者評価は行っていないが母体である法人の業務監査部で評価を行っています	第三者による外部評価は、今後検討していきます
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	豊中市主催等の研修や外部研修、事業所内研修を行い参加の機会を設け、費用負担を行っています	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	ニーズや課題を職員間で話し合い、計画を作成しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	定型発達児が年齢に合わせてできる事を指標にしているポータープログラムをアセスメントツールとして活用し、できること、できないこと等、保護者と情報共有しています	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	ガイドラインの療育目標に合わせて、社会性、認知、言語、運動、身辺自立の目標を設定し、年齢にあった支援を行っています	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	支援会議を定期的に行い、支援計画に沿った支援を行っています	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	個別課題の立案は言語聴覚士を中心に職員全員で行っています	プログラムは全員で考えるが、ケース会議などを行い、短・中・長期で計画立案を行っていく必要があります
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	児童の成長に合わせてプログラムを考えています	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	指導員と個別に取り組む課題を必ず計画立てをし、運動等に関して集団で活動できるよう組み合わせています	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	機能訓練士(言語聴覚士、臨床心理士)と指導員が必ず打ち合わせをし、内容役割分担を行っています	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	課題に対する取り組み方、達成度など気づいた部分等を共有し、必ず記録しています	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	課題が適切かどうかを検討し、話し合い記録、話し合いを繰り返して改善しています	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	ケース会議を定期的に行い、支援計画の見直しを職員全員で行っています	
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	64%	36%		相談支援事業所を利用している利用者がいません、利用中のほとんどの児童がセルフプランで利用しているため、サービス担当者会議はほとんど開催がなく内部担当者会議を行っています。今後、必要な場合は責任者が参画します	
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	保育園や幼稚園等、児童が所属している部署と連携を行っています		
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%		医療的ケア必要な子どもの利用がないため、該当しないが、利用がある場合は連携支援を行っていきます	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%		医療的ケアが必要な子どもの利用がないため、該当しないが、利用がある場合は連携支援を行っていきます
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	児童の通所している幼稚園、保育園、こども園等を訪問して情報の共有と相互理解を深めています	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0%	100%		今後はできる限り対応し、相互理解を図っていきます
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	豊中市事業者連絡会に入会しており、事業所との交流で他事業者の研修に参加し支援内容などを学習しています。	他事業所や専門機関と連携を行い、助言や研修も今後検討していきます
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	職員が豊中市主催のペアレント・トレーニング講習に参加し、得た知識をもとに今年度、言語聴覚士と共に保護者に対してペアレント・トレーニングを行いました	日時の設定など、より多くの保護者が参加できるように工夫していきます
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約締結時に運営規程、重要事項説明書、代理受領、負担額などについて丁寧に説明を行っています	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	認知、社会性、言語、身辺自立、運動等、基礎能力の向上を目標に計画書作成として、説明後、保護者から同意を得ています	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	73%	0%	子育ての不安や悩み事を相談される保護者が多く、必要な助言を行い、その都度適切な支援を行っています	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	27%	73%	父母の会や保護者会が開催できなかったが、ペアレント・トレーニングを通して保護者同士の交流を行えるようにしました	コロナ感染症の影響でできていなかったが、今後は連携を深めていけるような開催を目標とします
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	相談については常に受け入れる体制を整え、児童に関する日常・発達のことについての相談には適宜対応しています	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	36%	64%	活動の様子を個別で写真に撮る等してお知らせしています	活動概要はお伝えしているが、通信などの発行はないため、今後は発信していく予定です
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	個人情報を記載した書等は必ず鍵のかかる書庫に保管し、施錠確認を徹底して行っています。職員には個人情報保護に対する誓約書を提出してもらっています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	コミュニケーション方法を言語だけではなく、視覚支援や他のツールも使用して行っています	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		コロナ禍の現状では難しいが今後は地域と関わりを図っていきたいと思います
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	各マニュアルを定期的に研修で使用し、確認を行っています	マニュアル作成を行うと同時に、職員、保護者間での情報共有を行っています
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	BCP計画を作成、避難訓練については定期的に実施しています	災害、緊急事態発生時に備えBCP計画(事業継続計画)を作成しました。職員のみではなく、保護者への周知徹底を行う予定です
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	アレルギー等の把握を行っています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	55%	45%		医師の指示書が必要な児童の利用が現状ないが、利用時には対応していきます
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	記録を必ず行い、ミーティングで共有している。記録をファイリングし、いつでも職員が目を通せるようにしています	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	事業所内研修と法人内研修を必ず実施しています	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	運営規程にも記載しています		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 31 日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス あるは 保護者等数(児童数) 21 回収数 14 割合 65 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	100%	0%	0%	0%		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	79%	0%	0%	21%	適切な基準がわからない	職員の配置について、見学や契約時等に丁寧に説明を行うよう努めていきます
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	100%	0%	0%	0%		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	93%	0%	0%	7%		児童発達支援ガイドラインに沿って、支援内容を設定しています。契約時には丁寧に支援内容等について説明をさせていただきます
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	0%		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	93%	0%	0%	7%		活動プログラムについては固定化しないよう作成し、個別支援計画作成時等での説明および日々の連絡帳等へ記録を残しています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	29%	14%	0%	57%	子ども園に通っているの で、不便を感じたことはありません	土曜日や長期休暇時は障がいのない児童に來所してもらい交流の機会を持つようになっています
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100%	0%	0%	0%		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	86%	7%	0%	7%		児童発達支援ガイドラインに沿った支援内容と児童発達支援計画を契約時および最低6か月に1回の支援計画見直し作成時には保護者の方への説明を行っています。保護者の方はわかりやすいよう、より丁寧に説明を行っていきます
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	71%	21%	0%	7%	ペアレント・トレーニングの開催があったのですが、都合が悪い日で参加できませんでした。回数がもう少しあればいいと思います ペアレント・トレーニングはとても勉強になりました	今後も家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)を開催し、できるだけ多くの保護者に参加して頂けるよう工夫していきます
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	93%	7%	0%	0%		送迎時や電話連絡などで共通理解を深めているが、できる限り多くの情報を共通していくよう努めていきます

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	86%	14%	0%	0%	困っていることを連絡帳に記載すると、すぐに電話をかけてくださり、話を聞いて頂けるので助かっています。アドバイスもすごく勉強になるので嬉しいです	モニタリング時期の説明をしっかりと行っていくことと、相談に関しては常に対応可能ということもお伝えしています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	7%	14%	36%	43%	送迎して頂いているので、他の保護者の方と出会うことがありません	コロナ禍で開催を控えていましたが、家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング)を開催し、少しずつ保護者の方が繋がる機会を増やしていきたいと検討しています
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	86%	14%	0%	0%	ちょっとしたことで覚えていくので直接相談できる面談の場が楽しみでした	保護者からの相談については常に体制を整え、迅速に対応できるように今後も努めていきます
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100%	0%	0%	0%		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	57%	0%	0%	43%	ホームページにはあまり目を通せていません。	活動概要については毎月ご案内をしています。子どもたちの様子をお知らせする会報やホームページについては個人情報の観点から控えております。自己評価表の結果については、URLをお知らせしていつでも見ていただけるようご案内しました
19 個人情報の取扱いに十分注意されている	86%	14%	0%	0%		個人情報の取り扱いには厳重に注意を払っております	
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	57%	0%	0%	43%		各マニュアルの作成を行い、職員研修で徹底した対応をしております。今後は安心して利用して頂けるよう、保護者向けマニュアルを作成し配布していきたいと思えます
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	57%	0%	0%	43%		定期的な避難訓練、設備点検を行っております。訓練を実施した日には連絡帳へ記載しております。今度も継続して訓練を行っていきます
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしている	100%	0%	0%	0%	毎回嫌がることなく楽しみに通えています。安心、信頼している様子です。年齢の近いお友だちと会えるのも嬉しいようです。利用がない日でも、行きたいと言っています	子どもたちが楽しく療育できる環境、プログラムを大切に支援を行っていきます
	23 事業所の支援に満足している	93%	7%	0%	0%	子どもの成長を共通でき大変嬉しく思います。子どもの楽しそうな姿を見て、楽しかったという話を聞き、心からこちらの事業所にお任せして良かったと感じています。子ども園に通園するだけでは経験できないこともたくさん経験でき、心身共に成長しました。親もたくさん学ぶことがあり、勉強になっています。	コロナ禍で支援内容や課題提供も制限される部分がありました。子どもたちの成長にとってよりよい支援を行うよう今後も努めています

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月31日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス あろは

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	個別指導ができる訓練室があり小集団でトレーニングできるスペースも確保しています	
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	基準を遵守し、日々配置しています。個別療育ができるように1対1のシフトを組んでいます	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	特性のある児童に合わせて、行動しやすいように構造化されています。建物の構造にトイレ、手洗いに段差があるが、手すりを設置したり、移動の際に段差で踏み外しのリスクを考えて必ず見守りを実施しています	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	支援等、日々を振り返り職員全員で療育内容や結果を考え話し合いができています	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者に評価表を配布し、意向等の把握を行っています	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	法人本部総合政策業務監査部に提出し、自己評価の改善部分や関西事業本部ホームページにて公開しています	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	第三者評価は行っていないが母体である法人の業務監査部で評価を行っています	第三者による外部評価は、今後検討していきます
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	豊中市主催等の研修や外部研修、事業所内研修を行い参加の機会を設け、費用負担を行っています	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	ニーズや課題を職員間で話し合い、計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	ポータブルプログラムをアセスメントツールとして活用し、できること、できないこと等、保護者と情報共有しています	

適切な支援の提供

11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	個別課題の立案は言語聴覚士を中心に職員全員で行っています	プログラムは全員で考えるが、ケース会議などを行い、短・中・長期で計画立案を行っていく必要があります
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	社会性、ソーシャルスキルトレーニング等カテゴリー目標を検討しプログラムを設定しています	児童の成長に合わせてプログラムを考えています
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	平日、土曜日、長期休暇にこだわらず、個々の児童に見合った課題を提供することができています	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	個別の支援と社会性を養う支援を組み合わせています	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	機能訓練士と指導員が必ず打ち合わせをし、個々の課題提供や内容役割分担を行っています	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	課題に対する取り組み方、達成度など気づいた部分等を必ず記録して共有しています	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	課題が適切かどうか検討し、話し合い記録、話し合いを繰り返して改善しています	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的の実施し、支援計画については職員全員でケース会議を行い、見直しを行っています	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	認知、社会性、言語、身辺自立、運動等の基礎能力の向上を目指し組み合わせ合わせて支援を行っています	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	64%	36%		相談支援事業所を利用している利用者がいません、利用中の児童はセルフプランで利用しているため、サービス担当者会議はほとんど開催がなく内部担当者会議を行っています。今後、必要な場合は責任者が参画します
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	64%	36%	年間計画等、保護者と情報共有を行っています	主に土曜日、長期休暇時に利用されているため、現在は連絡調整を行っていませんが、放課後の利用の際は学校との情報共有を図り適切に行っています
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	73%	27%		医療的ケアが必要な子どもの利用がないため、該当しないが、利用がある場合は連携支援を行います
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%		必要に応じて各支援機関と情報共有を行っていきます
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	64%	36%		該当する利用者がいないため実施していませんが、今後は卒業後の意向をお聞きし、支援サービスの内容等の情報提供を行っていききたいと思います



関係機関や保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	豊中市事業者連絡会に入室しており、事業所との交流で他事業者の研修に参加し支援内容など学習しています。	他事業所や専門機関と連携を行い、助言や研修も今後検討していきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	64%	36%	障がいのない子どもにも訪所してもらい同じ時間を共有し交流する機会を設けています	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%		通所支援事業者の連絡会には参加しているが、今後協議会等にも参加していきたいと考えています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	発達の状況や課題について、日々共有できるように連絡帳に細かく記入し送迎時にも共有できるように話をしています。必要な場合には、保護者に来所してもらい状況を確認してもらっています	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	職員が豊中市主催のペアレント・トレーニング講習に参加し、得た知識をもとに今年度、言語聴覚士と共に保護者に対してペアレント・トレーニングを行いました	日時の設定など、より多くの保護者が参加できるように工夫していきます
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約締結時に運営規程、重要事項説明書、代理受領、負担額などについて丁寧に説明を行っています	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	子育ての不安や悩み事を相談される保護者が多く、必要な助言を行い、その都度適切な支援を行っています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	36%	64%	父母の会や保護者会は開催できなかったが、ペアレント・トレーニングを通して保護者同士の交流を行えるようにしました	コロナ感染症の影響でできていなかったが、今後は連携を深めていけるような開催を目標とします
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	相談については常に受け入れる体制を整え、児童に関する日常・発達のことについての相談には適宜対応しています	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	27%	73%	活動の様子を個別で写真に撮る等してお知らせしています	活動概要はお伝えしているが、通信などの発行はないため、今後は発信していく予定です
35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報を記載した書等は必ず鍵のできる書庫に保管し、施錠確認を徹底して行っています。職員には個人情報保護に対する誓約書を提出してもらっています		

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	コミュニケーション方法を言語だけではなく、視覚支援や他のツールも使用して行っています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		コロナ禍の現状では難しいが今後は地域と関わりを図っていきたくと思います
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	各マニュアルを定期的に研修で使用し、確認を行っています	マニュアル作成を行うと同時に、職員、保護者間での情報共有を行っていきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	BCP計画を作成、避難訓練については定期的に実施しています	災害、緊急事態発生時に備えBCP計画(事業継続計画)を作成しました。職員のみではなく、保護者への周知徹底を行う予定です
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	事業所内研修と法人内研修を必ず実施しています	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	運営規程にも記載しています	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		医師の指示書が必要な児童の利用が現状ないが、利用時には対応していきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	記録を必ず行い、ミーティングで共有している。記録をファイリングし、いつでも職員が目を通せるようにしています	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 31 日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス あろは 保護者等数(児童数) 1 回収数 1 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%	0%	0%	0%		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%	0%	0%	0%		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になさ	100%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%	0%	0%	0%		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100%	0%	0%	0%		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0%	0%	0%	100%		土曜日や長期休暇時は障がいのない児童に来所してもらい交流の機会を持つようになっています
保護者 への 説明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0%	0%	0%	100%		コロナ禍で開催を控えていましたが、家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング)を開催し、少しずつ保護者の方が繋がる機会を増やしていきたいと検討しています
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	0%	0%	0%	100%		保護者からの相談については常に体制を整え、迅速に対応できるよう今後も努めていきます
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	0%	0%	0%	100%		活動概要については毎月ご案内をしていますが、子どもたちの様子をお知らせする会報やホームページについては個人情報観点から控えております。自己評価表の結果については、URLをお知らせしているいつでも見ただけできるようご案内しています
14	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	0%			

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	100%	0%	0%	0%		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0%	0%	0%	100%		定期的な避難訓練、設備点検を行っております。訓練を実施した日には連絡帳へ記載しております。今度も継続して訓練を行っていきます
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%	0%		
	18	事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%		

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。